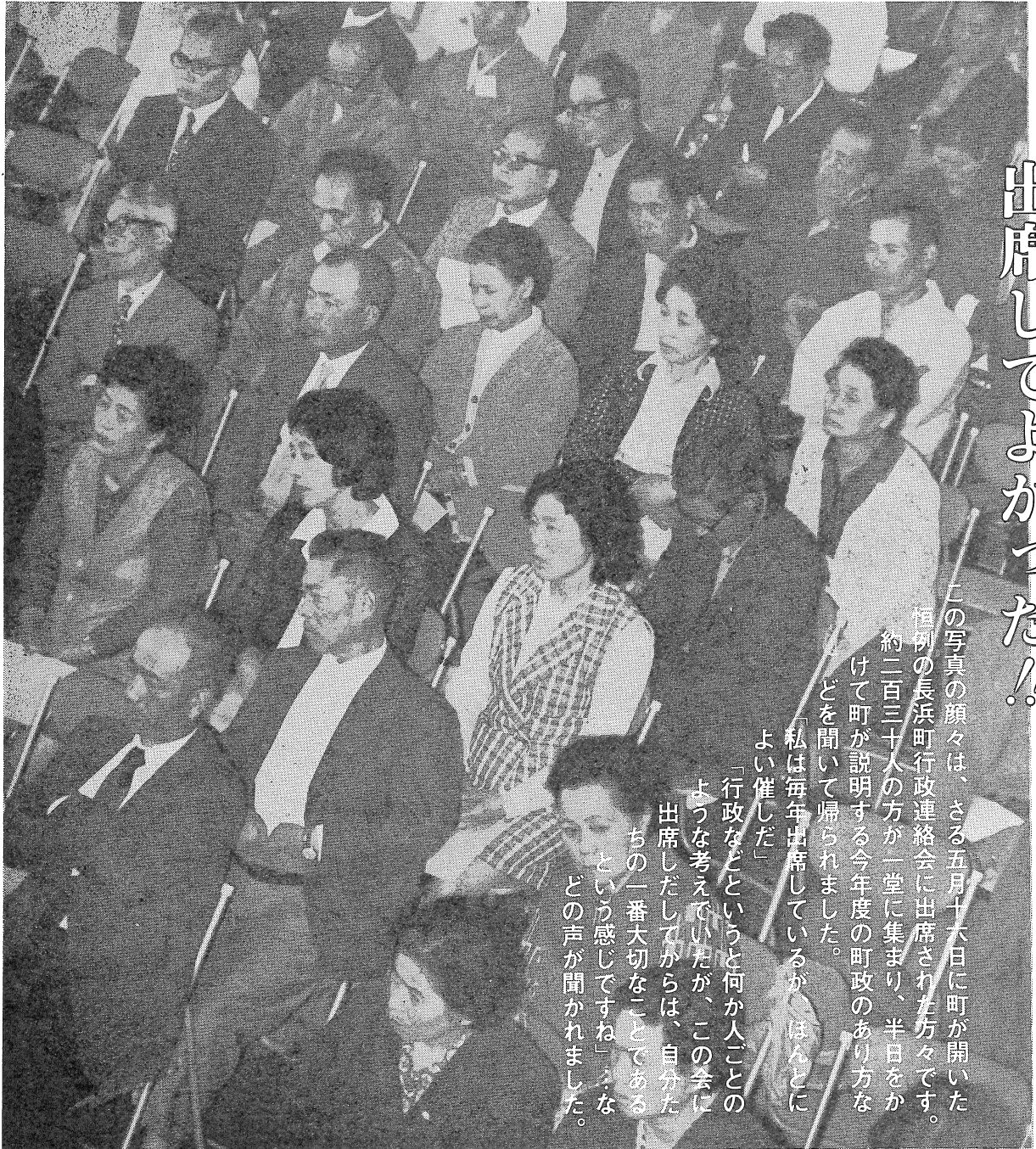


広報

ながはま

6月号



出席してよかった!!

この写真の顔々は、さる五月十六日に町が開いた
恒例の長浜町行政連絡会に出席された方々です。
約二百三十人の方が一堂に集まり、半日をか
けて町が説明する今年度の町政のあり方な
どを聞いて帰られました。

私は毎年出席しているがほんとうに
よい催しだ

「行政などというとか人ごとの
よつな考えでいたが、この会に
出席したてからは、自分の
ちの一番大切なことである
という感じですね」な
どの声が聞かれました。

行政連絡会

230人が参加して

熱心に聞く、考える、問う



会には町三役、教育長、各課長、課長補佐が出席するほか、町議会議員も全員出席する

町では、今年度の長浜町の行政のあり方を説明する第一回行政連絡会を、例年の通り町内の各機関や団体の役員約七百人に案内をして、五月十六日午前九時から町体育館で開きました。その結果、当日は約二百三十人が出席、昨年の出席者約三百人を下回るものでしたが、しかし、出席者は終始熱心に、施政方針や役場各課の重点施策、予算などの説明に耳を傾けるとともに、説明終了後の質問、要望、意見発表の時間では、閉会定刻の午後十二時半まで休みなく発言がつづき、町も一つ一つこれに答えました。

質問や要望と、それに対する町の答弁のようは次の通り。

▽出海中学校はなぜ統合できないか。：宮本幹之進（長浜）

：統合をすすめる話し合いをしたり、地元の反対条件の対応策も考えてみたが実現できなかった。このことは普通の問題ではなく教育の問題なので、むりやり統合するというようなことはしたくない。

▽立派な海水浴場（沖浦）、沖浦漁港を完成させたい。：同

：広報ながはま（四九年三月二

十日発行・号外）で答えている通りで、両立させようという考えを進めている。

▽小浦の町営住宅の完成時期と戸数は？：同

：ことし十一月に完成、四十八戸。

▽生活困窮者への救済金の支給額はどのくらいか。年末までに支給された。：小川儀三郎（長浜）

：現在検討中である。

▽臨海工業開発の青写真をつくるというが、それは進出企業が決定しているものか。：同

：決定しているものではない。まだそのような段階ではない。

▽気象調査の結果を、もっと具体的に公開する考えはないか。：同

：原文をそのまま発表しても、それは専門的なものであり理解できにくいので、わかりやすく要約し、ポイントがよく理解できるようにして発表すべきと思う。

▽住民の意識を把握することは行政上非常に大切なので、必要なときは意識調査をさせたい。：本田重太郎（出海）

区長会における地区別要望とその回答

町では、さる四月十一日に開いた区長会で受けた各地区の要望に答える回答を、文書にして行政連絡会出席者全員に手渡ししましたが次の通り本紙にも掲載しました。（区長会支部ごと）

長浜地区

- ①：二区中央山平住宅から流れ出る下水は、降雨量の多いときは県道や住宅にあふれて通行人や付近の住宅に迷惑をかけているので改良されたい。：早急に現地を調査し、緊急度の高いものから整備改良したい。
- ②：一区と二区の境界の谷川は、夏季は悪臭を放つほか、蚊やばい菌の発生源となるため、これに下水ぶたを設けるとともに、衛生車が入る道幅にされたい。：①の回答と同じ。
- ③：昨年設備した六区の下水道の一部に、傾斜がゆるいため汚水がたまるか所があるので早急に改良されたい。：①の回答と同じ。
- ④：山際共同墓地周辺は、毎年蚊の発生場所となっているので、ことしは早い時期に大がかりな消毒をされたい。：今年度五月中旬に実施する。
- ⑤：紺屋町裏の鉄道引込み線のところの下水溝は傾斜がゆるいため水の流れが悪く不衛生なので改良されたい。：排水路をそ

- ：日本は議会制民主主義が基本なので議会の存在を認めることが大切だと考える。しかし、重大なことについては広報広聴活動で住民意識を吸収してゆくという方法で町政を進めたい。
- ▽公害のない次期開発を進められたい。：吉本吉信（柴）
- ：当町のような後進地域こそ開発をして、新しい経済基盤を築いてゆかなければならないと考えており、大きな目標を誤ってはならないと考える。意見や注意をどしどし聞かせていただき、みんなの知恵で心配のない開発をし、長浜を発展させたい。
- ▽柴小学校校庭内の農道をのけていただきたい。：同
- ：善処する。
- ▽行政連絡会は各区ごとに開かれたい。：戎忠男（長浜）
- ：仲々むづかしいので了承願いたい。
- ▽役場受付係をふやすとともに出納室はもっとオープンにされたい。：同
- ：検討する。
- ▽町の労働費をもっとふやしてほしい。：久保義章（白滝）
- ：労働行政を行政区分の中に入れてはつきりやっているのは困と県だけで、町村にはその所管はない。しかし、健全な思想と健全な行いのできる労働組合育成のためには、町は労働費の一環として助成していてもいいのではないかと判断で予算を出している。で、この主旨をよく理解していただきたい。
- ▽労働者の社会教育をしたいので公民館を無料で使用させていただきたい。：同
- ：規則にしたがって対処したい
- ▽行政連絡会は夜開いていただきたい。：同
- ：夜の方がより効果的というのであればよいが、逆効果のことも考えられるので検討が必要だと思う。
- ▽白滝小学校の使所が良い。また、一、二年生用の便器が大人用なので改善されたい。：西上一志（白滝）
- ：悪臭については通風器を改善したい。また、便器については早急に検討する。

地区別要望とその回答

- ④：浜地区の街路灯、西港地区の防犯灯を改修された。：今年度五月下旬に改修する。
- ⑤：港、高松地区内の道路を舗装された。：地元の都合のよいときに生コンクリートを支給する。
- ⑥：港地区県道上の住宅の所の通路を舗装された。：⑤の回答と同じ。

出海地区

- ①：浜区の公営住宅内に消火栓を取り付けられた。：現地を調査し、計画を立てて順次取り付ける。
- ②：浜区の海岸に通じる階段を設けられた。：現地を調査した結果、必要なので設置する。
- ③：沖区の海岸へ通じる階段を補修された。：災害復旧工事として国へ査定を申請している。
- ④：浜区から港区間の県道に速度制限を表示された。：公安委員会へ申請する。
- ⑤：出海地区内の有線放送トランペットを修理された。：直ちに修理する。
- ⑥：浜区集会所の裏が崩れているので改修された。：現地調査をし検討する。

大和地区

- ①：下平林道は、雨が降るたびに山崩れをおこすので、山留工事をされた。：林道災害として国に採択されるかどうか調査して決定する。
- ②：町道郷刈屋線の起点であるアガリタテの所の路側復旧工事をされた。合わせて、墓地ま

- ①：豊茂小学校のプールは自由に入りができて危険なため、フェンスを張ってもらいたい。：希望通りフェンスを張る。
- ②：本村地区内にある通学路五十坪を舗装された。：現地を調査し、緊急度の高いものから計画を立てて舗装する。
- ③：有線放送トランペットを設備された。：沖浦地区③の回答と同じ。
- ④：通学道路であるカシヤシキ谷の橋に手すりを取り付けられた。：②の回答と同じ。
- ⑤：下村刈屋線の道路を早急に着手された。：作業林道として開設するもので測量済みであり、今年度中に施行できる見込みである。
- ⑥：三浦さん宅裏の農道、お堂の上の農道、一藤石見さん方の上の農道にそれぞれガードレールを設置された。：②の回答と同じ。
- ⑦：町道鶴の首線の本線と支線の

豊茂地区

- ①：町道加瀬山崎線のうち、大田商店から西岡薬局までの約二百坪の間の排水溝を改修された。：白滝地区は、農山漁村下水道整備事業として計画を立てているが、再調査をして早急に実施するよう努める。
- ②：大西弥市さん宅前に消火栓を設置された。：大和地区④の回答と同じ。
- ③：街路灯、防犯灯の電気料は町で負担された。：どこの地区とも受益者負担となっているので、区で支払われたい。
- ④：富岡進さん宅から平井豊秋さん宅に至る間(約五十坪)の下水路の整備と道路の舗装をされた。：①の回答と同じ。
- ⑤：白滝保育所に至る町道の水路に危険な水門があるので、早急に安全対策をとられたい。：①の回答と同じ。
- ⑥：加瀬のバス停前に不燃物ドラム缶を設置された。：植生
- ⑦：百二十五区に消火栓を設置された。：現地を調査して設置する。
- ⑧：裸電球の街路灯が三か所ある

白滝地区

- ①：町道加瀬山崎線のうち、大田商店から西岡薬局までの約二百坪の間の排水溝を改修された。：白滝地区は、農山漁村下水道整備事業として計画を立てているが、再調査をして早急に実施するよう努める。
- ②：大西弥市さん宅前に消火栓を設置された。：大和地区④の回答と同じ。
- ③：街路灯、防犯灯の電気料は町で負担された。：どこの地区とも受益者負担となっているので、区で支払われたい。
- ④：富岡進さん宅から平井豊秋さん宅に至る間(約五十坪)の下水路の整備と道路の舗装をされた。：①の回答と同じ。
- ⑤：白滝保育所に至る町道の水路に危険な水門があるので、早急に安全対策をとられたい。：①の回答と同じ。
- ⑥：加瀬のバス停前に不燃物ドラム缶を設置された。：植生
- ⑦：百二十五区に消火栓を設置された。：現地を調査して設置する。
- ⑧：裸電球の街路灯が三か所ある

柴地区

- ①：施工中である柴沖道路は、田植えごろまでに開通するようはかられた。：工法工程からみて田植え時期までに全線開通は無理であるが、田植えに支障のある区間については田植え時期までに完工するよう業者に指示している。
- ②：岡田さん宅前の日の浦道路に既設の消火栓があるが、これを使用できるようにされたい。：使用できるようにする。
- ③：百十四区の消火栓用ホースを二本購入されたい。：今年度予算で購入する。
- ④：日の浦の渡し船は破損しているため、新しく造るが修理をされた。：修理をする。
- ⑤：百四十一区内の一括放送ができる有線放送施設を設備された。：沖浦地区③の回答と同じ。
- ⑥：百五十一区の道路を改修されたい。：調査をして必要性の高いか所から順次改修する。

会からの要望に対する回答

- ①：海岸線道路の国道昇格運動

お宅にも郵便受箱を！

☆…郵便局からのお願い…☆

郵便受箱は郵便をまもり
雨の降る日も 風の吹く日も
お留守のときも安心です

ぜひお宅さまにも郵便受箱をおつけくださるようお願いいたします

- ①：次が開かれる国道審議会です。決定するよう努力したい。
- ②：第二次臨海工業開発を促進された。：詳しくはことし一月二十日発行の広報がはま号外で紹介の通りであり、現在もプロジェクトチームにより青写真の作成作業をすすめている。
- ③：役場新庁舎および公会堂を建設された。：警察署、常備消防署、総合グランド、社会福祉センター、病院などのこともあるので、これらと集合したものにするのが望ましいと思う。これらを加味した構想をプロジェクトチームに検討させている。
- ④：区長の待遇を改善された。：年々改善を心がけるようにしているが、財政の許す限り今後もできる限りの改善に努力したい。

ガンを防ぐ

ほとんどが手遅れで死亡

望まれる早期発見

毎年受けよう集団検診

死亡者ほとんどが集検を受けていない人

大洲保健所管内での昭和41年度から45年度間の胃ガン死亡者数と検診受診者数およびその関連性

年齢	20～29歳	30～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計
胃ガンによる死亡者数	2人	4人	10人	10人	10人	26人	33人	57人	115人	267人
胃検診受診者数	0	206人	1,269人	1,065人	917人	737人	539人	385人	249人	5,363人
胃検診受診者で胃ガンによる死亡者数	0	0	0	2人	1人	0	1人	2人	2人	8人

高齢になるほど死亡者数がふえているのに、受診者の数は逆に減ってゆく現象があります。高齢になるほど定期的な受診が望まれます。また、267人の死亡者のうち市町村が行っている集団検診を受けていた人はわずか8人であり、259人の方は集団検診を受けられたことのない人であったことに大きな問題が感じられます。

ガンによる死亡者を見ると、意外なほど集団検診を受けていない人が多いという結果がみられます。町内の場合、四十六年度にガンで死亡した人は十八人、四十七年度は二十三人となつていますが、このうち胃ガンによる死亡者を例にとつてみると四十六年度は九人、四十七年度は六人の計十五人となつています。ところが、この死亡者のうち町が毎年行っている集団検診を受けたことのある人はわずか一人だけ。また、少し古い資料ですが、これを大洲保健所管内でみると、上の表でもおわかりのように、昭和四十四年度から四十五年間に胃ガンで死亡した人は二百六十七人となつていますが、このうち集団検診を受けたことのある人はわずか

の八人(約三割)にしかすぎません。

このことは、すなわち死亡者のほとんどの方は、手遅れになってから病院などで検診や治療を受けたか、あるいは、その病名も知らないまま死亡されたものと考えられます。

早ければ助かる

「ガン」といえば、誰もがそれをおそらく「死の宣告」として受けとめ、「ああ、もうだめだ」と考えざるを得ないほど現代の医学をもってしてもどうにもならないほどのおそろしい病。

しかし、ちょっと待ってください。まったく救いようのないようなこの病も、病気の予防の最高段階である早期発見、早期治療によってはおおむね助かる事例の多いことをご存知でしょうか。病状が軽いうちに発見して治療をしたため助かり、現在元気に生活している人は町内にも大ぜいおられるということをお知らせしておきたいと思えます。

そこで、ぜひ受けていただきたいのが、市町村で毎年行っている胃ガンや婦人ガンの集団検診です。

受診態勢も改善

長浜町でも、胃ガンと婦人ガンの集団検診は、県の協力を得て毎年行っています。以前は受入れ態勢に限度があり、受診者受付数にも制限があったこの集団検診も、最近では、申し込みをした人はよほどの支障のない限り全員が受診できるような態勢が整いました。また、胃ガン検診は三十五歳から、婦人ガン検診は三十歳からと一応年齢制限はしていますが、これより若い人でも、心配な人や受診を希望される人は受診できるような努めることになりました。

おじけは大敵

これまでの町内の人の胃ガンの集団検診の受診状況を見ると、人数制限をしていた四十六年度は四百四十一人が申し込みをして三百八十六人が受診し、五十六人も

受診質問

問1...どこも悪くないと思うんだけど、やはり受けた方がよいでしょうか。

答...胃ガンは自覚症状がないことが多く症状があったとしても一般の胃病に似たような症状ですから、やはり調べておきましょう

問2...どんな検査をするのですか。

答...レントゲンの間接撮影が主です。胃の中をカラにしておき(水もダメ)、バリウムという白い液を飲みます。そしていろいろな方向から5～6枚撮影します。撮影時間は1人3～5分です。

問3...こんな検査でだいじょうぶですか。

答...集団検診では自覚症状のある人を診察する病院の場合に比べて、早期胃ガンが10倍も高い率で発見されます。

婦人ガン検診も

ここでは胃ガンを例に述べましたが、このほか婦人ガン検診についても、申込み者は全員受けられるよう受診態勢を整えていますので、集団検診についての通知があったら機会を逃がさず申し込みます。早速受診してください。

早期発見、早期治療こそ、ガンという怪物に対抗する唯一の手段であることを重ねて肝に命じておいていただきたいものです。

精密検診を必要とする人がありましたが、また、受診態勢が改善され受診者数の制限を大幅に緩和した四十七年度には七百三十六人が申し込みで六百四十六人が受診し、八十九人の精密検診者がありました。

しかし、この数字でもわかるように、申込みをしていながら当日になって受診に来られない人も非常に多くあります。この人たちの中には、もし、ガンだと言われたらいやだから...ということや引つ込み思案となり受診しなかった人が意外に多いというのを聞きまします。実はこういった人がキケンな人となるかも知れません。精密検診を必要とする人の数も決して少なくないように、このおそろしいガンはいつ私たちのからだに忍び寄るか知れません。自覚症状がつかみにくい病だけに、集団検診による定期的な監視が必要であるといえます。決しておじけず、すんで受診される前向きの勇気をもっていただきたいものです。

レポート 4月

過去をみて
現在を考え
未来を豊かなものに

検挙者11人も

事故多発裏付けるように

春の交通安全運動期間中

春の交通安全運動は、四月六日から十五日までの十日間全国いっせいに行動したが、長浜町ではこの期間中①長浜小学校トランペット鼓隊約百十人、同校先生八人、安全協会員約十人、警察署員四人、役場の課長十人による安全呼びかけパレード②婦人交通指導員や役場の係長以上の職員による街頭指導③警察署員に

よる街頭取締り、広報車による安全呼びかけ、長浜小学校新入児童を対象とした下校時の安全指導および長浜中学校生徒を対象に安全な自転車の乗り方指導などを行った。

しかし、こういった関係者の努力や願いもむなしく、期間中大洲警察署管内で町内の人が起こした事故と違反件数は次の通りとなった。

まず、事故が二件あった。一件は、上老松の大和橋たもとの交差点で、若い女性の運転する普通乗用車が自転車に乗って通行中の中年の男の人をはね、重傷を負わ

せる事故。もう一件は、仁久の県道で軽四輪乗用車が普通乗用車に追突、普通乗用車に乗っていた三人がそれぞれ三週間のケガをした原因は先の一件は普通乗用車の運転手が安全運転を怠ったため。後の一件は安全な車間距離がとられてなかったためによるもの。

このほか、違反で警察に検挙された町内の人は全部で九人もあった。その内訳は、スピード違反四人、飲酒運転二人、駐車違反一人、踏切停車違反一人、その他一人。「運動期間中ではさえない状態だから、普通の日だったらさぞかし……」という声が聞かれる。

長浜町は大洲警察署管内では他の地域に比べて事故が多いということである。違反件数の多いことがそれを裏付けているのではあるまいか。

多い違反者、運動むなし

陛下ご出席の演奏会で歌う

テノール歌手めざす森さん

ふるさとを離れて中央などに生まれ、それぞれの分野で活躍される名をあげられている人は、わが町



歌う 靖博さん

靖博さんは長浜小学校、長浜中学校を卒業後、大分県立緑が丘高校芸術(音楽)科、大分県立芸術短期大学、二期会研究科を経て国

からも多いようですが、最近聞かれる名響なニュースを一つ。この春東京の国立(くにたち)音楽大学を卒業、現在東京芸術大学の大学院に在学中である長浜十一区出身の森靖博さん(二十七・森茂夫さんの長男)は、この四月一日、皇后陛下美智子妃殿下、そのほか皇族多数のご列席のもとに(天皇陛下はご都合によりご欠席)皇居内桃華楽堂で開催された宮内庁恒例の音楽大学卒業生演奏会に、国立音楽大学卒業生の中から選抜されて出演、テノール独唱で聴視者を魅了させました。

立音楽大学に入学、この春同大学を卒業され、引続き東京芸大の大学院に入学されてこの道を前進されていますが、「このあとさらに外国へ留学して国際的レベルでの勉強が必要でしょう」と語る両親の表情には、この道とすじにいどむ靖博さんに精いっぱい応援をしている親の姿が感じられます。同演奏会には両親も招待を受け出席されましたが、「やはり陛下ご出席のもとで出演できたことはうれしい」と話しておられました。高校時代には西日本高校大会で優勝したという靖博さん。私たちが長浜町の名誉のために、願わくは立川清登さんのようにぜひ大成してほしいものです。

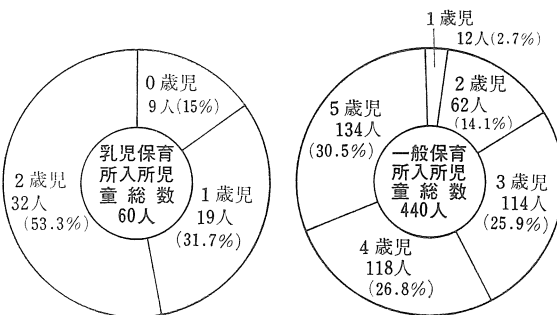
一方、街頭指導に当たった人の話によると、歩行者の交通マナーにも問題点が多く、特に①右側通行が守られていない②横断歩道を手上げて渡る人が少ない③車や自転車の置き方がみだらである④などの点が指摘された。お互いに反省をしてみていただきたい。

179人が新入学

小 1214人
児童総数 766人

ことしの小学校の入学式は、四月八日。各小学校ごとに行われた。新入学児童総数は百七十九人。学校別では長浜小十七人、青島小十六人、喜多灘小十六人、櫛生小十八人、出海小九人、大和小十五人、豊

茂小十三人、白滝小十九人、戒川小五人、柴小七人。これで各校合わせた児童生徒総数は千二百二十四人。学校別では長浜小五百二十二人、青島小六人、喜多灘小七十六人、櫛生小百二十二二人、出海小八十四人、大和小百十八人、豊茂小七十七人、白滝小百十六人、戒川小三十四人、柴小五十九人となった。



保育所は500人

町立各保育所と乳児保育所の入所式は六日(喜多灘は八日)に行った。今年度の入所児童数は喜多灘保育所と豊茂保育所のほかはいずれも定員を下回っており、四月十日現在次の通りとなっている。(カッコ内は定員)

長浜保育所百十三人(百二十人)、沖浦保育所四十九人(六十人)、喜多灘保育所三十人。櫛生保育所五十六人(六十人)、出海保育所五十八人(六十人)、大和保育所五十八人(六十人)、豊茂保育所三十一人、白滝保育所六十一人(九十人)。また、乳児保育所は定員いっぱい六十人。年齢別では次のグラフの通りとなっている。

表彰

団員 17人

多年貢献で知事表彰

消防団

次の消防団員は、多年にわたって消防活動に貢献したことにわたり五月十四日松山市の愛媛県文教会館で開かれた愛媛県消防大会の席上、県知事から表彰されました。

▽長浜分団の海東武行部長(長浜二十三区) 小西善行部長(黒田) 次家誠部長(長浜二十八区) 三井徳行班長(長浜二十八区) 喜多灘分団の仲尾長栄副分団長、津田龍雄部長、丸井恒男部長、魚見栄一班長(いずれも今坊) 榑生分団の菊地健(榑生) 出海分団の小西強副分団長、高岡修二部長、河澄奎之助部長(いずれも出海) 大和分団の井上四郎副分団長、久保正吉部長(いずれも上老松) 松本年久班長(豊茂) 白滝分団の曾根保部長(白滝) 渡辺利邦部長(柴)

特賞に

- 上田キヨ子さん
- 一宮 松子さん
- 仲尾 長栄さん

次の方々は、第六回しいたけ共

進会に出品した作品が入賞し、五月十日、長浜町体育館で開かれた同会の席上表彰されました。

とんこの部個人

【特賞】上田キヨ子(豊茂) 【一等賞】菊地千代子、富田利好(いずれも豊茂) 【二等賞】岡田光明(下須戒)、岡本久子(上老松)、上田諭、大成豊功、菊地徹(以上豊茂)、中野富加(戒川) 【三等賞】西山基(今坊) 宇都宮達雄(榑生)、鈴木光男(出海)、小西仲光(下須戒)、宇都宮吉幸、宇都宮俊英、楠野孝行、小西考夫、富田幸雄、藤田千代子、増田公介、武地喜佐雄(以上豊茂)、大野真良、川淵万寿衛久保貞夫、松田義則、山本房子(以上戒川) 徳山峰子(柴) 【努力賞】西山弘三、矢間一義(以上今坊)、村上興一(榑生)、永沼惟孝(出海)、下田安子(下須戒)、富岡義勝、藤田諾子(以上豊茂) 大野善子、丸田正登美(以上戒川)

こうしんの部個人

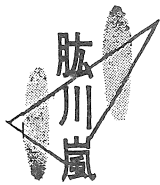
【特賞】一宮松子(戒川) 【一等賞】加納勝利、田中晋(以上須沢)、上田諭(豊茂)、【二等賞】上田虎男、菊地生亀、渡辺泰一(以上豊茂)、清水満秋(柴)

ほだ木の部個人

【特賞】仲尾長栄(今坊) 【一等賞】中野富加(戒川) 【二等賞】矢間一義(今坊)、藤田阪喜、増田猪佐夫(以上豊茂) 【三等賞】大成淳、武地喜佐雄(以上豊茂)、山本正(戒川)、大野幸衛(大越)、上満武友(柴) 【努力賞】村上興一(榑生)、和田永吉(出海)、久保貞男、清水秋雄、徳田平八郎(以上戒川)

団体の部

一位 豊茂の明東地地区、二位 戒川の本郷地区、三位 戒川の一の瀬地区



春から夏へ、いわゆる衣がえの季節である。季節上のあの厳しい眩川嵐とは当分お別れとなり夏期天国を迎えることとなる。長浜の夏はほんとうにすばらしい川風、海風の涼しいこと。白滝、出石寺、磯つり、沖つり、海水浴場と消夏のすばらしさを満喫できる場所にも恵まれている ▲ところで、お互い長浜町民の心はかくのごとく涼しくさわやかであるかどうか。人が環境をつくり、環境が人をつくるといふ。自然(物質)と人間(こころ)との相関関係はかくのごとしとすれば、夏の長浜町民は他のどこの住民にくらべても涼しくさわやかでなければならないはずである▲ところで、どうもこのごろ環境と人、物と心の間に大きなひび割れが入っているように思えてならない。物を大切に使うことを忘れて狂乱物置をのろい、自然や環境の保全がなくて叫ばれながら、多くの人々によって木石は盗まれ傷められ、ごみや排棄物は所きらわずまき散らされる ▲長浜町民はまず他に先んじてここのところを考え、いましめてみようではないか。物心一如、夏は正に長浜の季節であるとともに、これからどつと長浜を訪れる人々にすべての町民が心の涼風を贈ることができれば、無上最高の長浜の夏と天下に誇ることができるだろう。

×××訂正×××
お手数ですがご訂正ください

本紙4月号と5月号の寄付の欄で、榑生の清水棟さん、長浜一区の矢野隆男さん、沖浦の二宮英二さんの寄付は、重複掲載ですのでどちらか一方は抹消してください



結婚

4月長浜町役場 届出分(敬称略)

住所	氏名	婚姻届時年齢
白滝	佐野 順一	(二七)
五十崎町	綾子	(二七)
大洲市	久保田 義広	(二二)
長浜	保子	(二二)
長浜	水本 五津喜恵子	(三三)

お誕生おめでとう!!

4月届出分(敬称略)

住所	保護者氏名	続柄	児名
仁久	田中 和夫	長男	幸志
長浜	福田 時美	長女	美智恵
沖浦	野元 政春	長男	智彦
榑生	興裕 安	二女	みどり
出海	後藤 政紀	長男	哲哉
出海	中村 保	四男	智也
下須戒	藤田 利和	長女	美幸
下須戒	河内 利夫	長男	義勝

おくやみ

4月届出分(敬称略)

住所	氏名	死亡時年齢
長浜	石田 トシ子	(五三)
長浜	丸田 ヨシ	(七〇)
長浜	西崎 アサノ	(八二)
長浜	徳田 正八	(五五)
長浜	松原 豊	(二四)
長浜	藤沢 順	(六八)
黒田	中田 淳子	(三九)
下須戒	藤岡 トモ	(九二)
白滝	滝井 虎造	(七六)
柴	滝宮 寅夫	(八七)
柴	柿本 武夫	(五九)
柴	山本 テル	(八二)
柴	矢野 豊治郎	(八二)

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう。

	5月1日現在	前月との比較
人口	13,939人 (男 6,611人 女 7,318人)	19人減 (8人減 11人減)
世帯数	3,968世帯	7世帯増

